

全道フットサル選手権2017 U-14の部

札幌地区予選 開催要項

1. 主 旨 札幌地区のフットサルの普及・振興のため、中学生年代のフットサル大会を開催し、併せてフットサル技術の向上と健康な心身の育成を図ることを目的として、地区予選を実施し、札幌地区代表として本大会に出場するチームを決定する。
2. 名 称 全道フットサル選手権2017 U-14の部 札幌地区予選
3. 主 催 (一社)札幌地区サッカー協会、NPO 法人札幌フットサル連盟
4. 主 管 (一社)札幌地区サッカー協会第3種委員会
5. 期 日 予選リーグ 2017年1月7日(土)・8日(日)・9日(月)
決勝トーナメント 1月14日(土)
6. 会 場 登録チームの体育館
7. 参加資格
フットサルチームの場合
公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル3種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。
前項のチームに所属する2002年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、上記(1)又(2)における参加資格を満たしている場合において、(一社)札幌地区サッカー協会第3種委員長が別途了承した場合認めることとする。ただし、合同チームの複数参加については不可とする。
外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
サッカーチームの場合
公益財団法人日本サッカー協会に「3種」、または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。
前項のチームに所属する2002年4月2日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
複数チームによる「合同チーム」の大会参加については、上記(1)又(2)における参加資格を満たしている場合において、(一社)札幌地区サッカー協会第3種委員長が別途了承した場合認めることとする。ただし、合同チームの複数参加については不可とする。
外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
本地区予選・本大会を通して、選手は、他のチームで参加しないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
選手、役員、帯同審判は、本地区予選において複数のチームで参加できない。
下記本大会フットサル登録料を所属地区サッカー協会において納入完了すること。
サッカーチームの場合 4,000円 (フットサルチームの場合 2,000円(恐らく該当チームなし))
8. 参加チーム及びその数 本地区予選に参加を希望するチーム。

9. 大会形式

3~4 チームリーグ×16 で予選リーグを行うことを基本とするが、参加チーム数によっては、3~4 チームリーグ×17 以上で行う。会場数の都合で変更もあり得る。各予選リーグの1位の16チーム(17チーム以上)が決勝トーナメントに進出することを基本とするが、会場数の都合で変更もあり得る。決勝トーナメントは4代表を決定するのみで、準決勝戦以降は実施しない。

試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは0対5または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。

リーグ戦の順位決定方法は、勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。

当該チーム間の対戦成績

当該チーム間の得失点差

当該チーム間の総得点数

リーグ内の総得失点差

リーグ内の総得点数

PK方式(1チーム3名による3本ずつのキックで行う。決しないときは一方のチームが他方より多く得点をあげるまで行う。)により決定する。

10. 競技規則

大会実施年度の(公財)日本サッカー協会フットサル競技規則による。ただし、以下の項目については、本大会で規定する。

11. 競技会規定

試合球は、フットサル用4号ボールとする。

競技者の数・競技者の数:5名

・交代要員の数:10名以内

・ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数:2名以内

ベンチに入ることのできる人数は14名以内(交代要員10名、役員4名以内)とする。

登録20名中15名(先発5名+交代要員10名)まで印をつけることができる
エントリー用紙は監督会議で配布される。

ユニフォーム

フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携行すること。

チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。

フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。

シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。

選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

ユニフォームへの広告表示については、本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。

その他のユニフォームに関する事項については、(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」(2016年4月1日施行)に則る。

(6) 靴

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が飴色、白色もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

- (7) ビブス
交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (8) 試合時間
試合時間は、24 分間(前後半各 12 分間)のランニングタイムとする。また、ハーフタイムのインターバルは、2 分間とする(前半終了から後半開始前まで)。
- (9) 試合の勝者を決定する方法(競技時間内で勝者が決しない場合)
予選リーグにおいては引き分けとする。
決勝トーナメントにおいては PK 方式により勝敗を決定する。
ただし、代表決定戦においては、10 分間(前後半各 5 分間)のプレーイングタイムの延長戦を行い、なお決定しない場合は PK 方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは 5 分間、PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。

(10) タイムアウトは適用しない。

12. 懲 罰
- (1) 本地区予選において退場を命じられた選手は、自動的に次の 1 試合に出場できない。
- (2) 本地区予選期間中に警告の累積が 2 回に及んだ選手は、自動的に本地区予選の次の 1 試合に出場できない。
- (3) 前項により出場停止処分を受けたとき、本地区予選リーグ終了時点で警告の累積が 1 回のとき、または、決勝トーナメントの終了のときに、警告の累積は消滅する。
- (4) 本地区予選終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (5) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

13. 参加料等
- 参加料 6,500 円は、本大会フットサル登録料 4,000 円(2,000 円)、札幌フットサル連盟登録料 500 円とともに、監督会議で納入のこと。ただし、今年度 U15 フットサル大会に出場したチームは、札幌フットサル連盟登録料 500 円は不要。
決勝トーナメント進出チームは別途 5,000 円の参加料を会場で納入のこと。

14. 参加申込
- 参加申込書に記載し得る人員は、選手 20 名・役員 4 名とする。
参加申込は所定の参加申込書、会場調査用紙に必要事項を記入し、期日までに申込先へ E-mail で送付すること。(ファイル名はチーム名とすること。)
参加料等 11,000 円(U15 参加チームは 10,500 円)は、監督会議で納入すること。
決勝トーナメント参加料 4,000 円は試合会場で納入すること。
参加申込締切日 2016 年 12 月 12 日(月) 正午まで(厳守)
前項の申込締切日以降の参加申込内容の変更は認めない。
申込先 札幌市立篠路西中学校 池田清朗 宛 sfa3.futsal@gmail.com

15. 組合せ
- 会場チームを考慮し、監督会議で抽選のうえ決定する。複数チーム出場のチームは予選リーグが同リーグとならないよう考慮する。

16. 帯同審判
- 審判員については、帯同制による相互審判とする。4 級以上の公認フットサル審判員(1 名以上)の氏名・級等を参加申込書帯同審判欄に記入のこと。参加申込時に有資格者を記入できないチームは本地区予選の出場を認めない。なお、複数チーム出場の場合は、同一審判員が兼任することはできない。
帯同審判員は、役員(監督を含む)と兼ねることができる。

17. 監督会議
- 日 時 : 2016 年 12 月 21 日(水) 19 時から
会 場 : 札幌コンベンションセンター 201・202 会議室
札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目

18. 開 会 式 日 時 : 2016年12月21日(水) 監督会議終了後
 会 場 : 監督会議と同じ
19. 表 彰 行わない。
20. 負 傷 及 び 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師
 事 故 の 責 任 及び救急用具の準備は各チームの責任において行うこととする。
 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。
21. そ の 他 マッチコーディネーションミーティング
 各試合競技開始時間の40分前(ただし、第1試合は試合開始30分前)に、運営ス
 タッフ、両チームの監督及び審判員とマッチコーディネーションミーティングを行う。
 このミーティングにおいて、エントリー用紙の回収、JFA選手証(写真が貼付された
 もの)またはJFAフットサル選手証等の確認、諸注意事項の説明等を行う。
 また、FP及びGKそれぞれの正副2種類のユニフォーム(パワープレーを行うチ
 ームはパワープレー用ユニフォームも含む)、競技中に着用するビブス(対戦チ
 ームのユニフォーム色も考慮し、複数色のビブスの用意があるのが望ましい。)を各色
 1枚持参し、両チームのユニフォーム等の色を決定する。
 タイムスケジュール、出場停止選手、試合前セレモニーの進行内容、モラル、その
 他通達事項などについて確認を行う。
 電子選手証等
 各チームの登録選手は、JFA発行のフットサル電子選手証の写し(写真が登録さ
 れたもの)またはJFA選手証(写真が貼付されたもの)を、試合会場に持参するこ
 と。いずれかが確認できない場合は、試合に出場できない。
 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止す
 る。
 震災等、不測の事態が発生した場合には、本大会運営委員会において協議の上
 対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。
 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては摂取
 可能な飲料は「水のみ」に限定する。
- (6) 本実施要項に記載のない事項については、(一社)札幌地区サッカー協会第3種委
員会にて決定する。
- (7) 決勝トーナメント上位4チームには、2017年3月4日(土)・5日(日)に釧路市で開催
される全道フットサル選手権2017 U-14の部の出場を義務づける。

以上